

# デジタルとくしま推進プラン

～とくしま版DXの実現に向けて～

## 13 デジタルデバйд対策プロジェクト

---

# プロジェクトの位置づけ



## 目指すべき社会

人材を育み、誰もが  
輝く自己実現可  
能な社会

## 基本目標(分野)

デジタル  
インクルージョン

## 重点戦略

インクルーシブな  
デジタル社会の実現

# プロジェクトの内容

年齢、障がいの有無、性別、国籍等にかかわらず、誰もがデジタル活用の利便性を享受し又は担い手となることができるインクルーシブな社会（誰一人取り残されないデジタル社会）を目指す。このため、高齢者、障がい者及び育児・介護世代等のスキル習得による活躍へのきっかけ作りやデジタル技術に関する学び合いの場づくりを推進する。

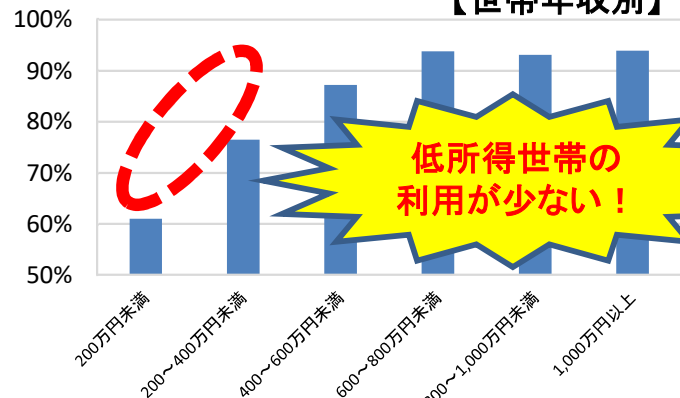
## インターネット利用状況

### 【男女・年代別】



高齢者の  
利用が少ない！

### 【世帯年収別】



低所得世帯の  
利用が少ない！

出典：令和4年通信利用動向調査（総務省）

## ● デジタル技術について学べる環境

- 小中学生を対象としたプログラミング教育出前授業
- 県シルバー大学校及び同大学院のICT講座
- 老人クラブによる高齢者のデジタル機器活用支援
- 視覚障がい者を対象とした情報支援機器の操作訓練
- スマホ体験教室や相談会の開催

## ● 情報による恩恵を享受できる環境

- 県ホームページのウェブアクセシビリティ基準適合レベルAAへの準拠

誰もが  
デジタル社会の恩恵を  
享受できる社会の  
実現



## ● ネットに接続可能な環境

- 公衆無線LANサービスの提供
- 家庭にインターネット接続環境を整備することが困難と認められる県立学校の児童生徒に対するモバイルルーターの貸与

# 主な指標及び工程(1)

※実績値はR6.3.31時点(見込)

## ◆ KGI : インターネット利用率

担当課: デジタルとくしま推進課

進捗評価の参考として、通信利用動向調査(総務省)の「都道府県別インターネットの利用状況」集計値を使用する。

通信利用動向調査は、世帯(全体・構成員)及び企業を対象として、統計法に基づく政府統計として平成2年から毎年実施されている。令和5年も住民基本台帳から無作為に抽出した世帯の方に、令和5年8月末の通信サービスの利用状況、情報通信関連機器の保有状況等について回答の依頼がなされており、結果は令和6年5月末を目処に発表予定とされている。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	79.0%	80.5%	82.0%	83.5%
実績	77.4%	76.7%	80.6%	82.0%(見込)	—

## □ CSF-1 : 誰もがデジタル技術について学べる環境の整備

### ➤ KPI-1 : プログラミング教育出前授業の実施(再掲)

担当課: e-とくしま推進財団

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	20回	40回	15回	15回
実績	—	39回	11回	13回	—

(再掲 12 デジタル人材育成プロジェクト)

※1回当たり参加者数 令和3年度20.8名、令和4年度17.2名、令和5年度23.3名

※教員が自ら授業を行っていることや

他団体でも同種の取組を行っていることから目標値を下方修正した。

# 主な指標及び工程(2)

※実績値はR6.3.31時点(見込)

- KPI-2 : 県民や財団会員等を対象としたICTに関するセミナーの充実

担当課:e-とくしま推進財団

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	3回	4回	5回	5回
実績	2回	4回	4回	6回	—

※1回当たり参加者数 R2年度90名、R3年度135名、R4年度153名、R5年度106名

- KPI-3 : 表彰制度の拡大(GIGAスクール構想に関する、優れた取組を行った小中学校に表彰)

担当課:e-とくしま推進財団

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	創設	審査委員の意見を踏まえながら表彰制度の充実を図る(PDCA)		
実績	—	創設	拡大・充実	拡大・充実	—

※令和3年度にICT(GIGA)部門を創設し、令和3・4年度に各1校を表彰

- KPI-4 : 視覚障がい者のデジタル機器利用訓練人数(累計)

担当課:障がい福祉課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	500人	745人	990人	1,235人
実績	344人	641人	812人	990人(見込)	—



# 主な指標及び工程(3)

※実績値はR6.3.31時点(見込)

## ➤ KPI-5 : 県シルバー大学校大学院ICT資格取得者数(累計)

担当課:ダイバーシティ推進課

シニアITアドバイザー(SITA)3級取得が卒業認定条件

シニアITアドバイザー(SITA)とは、パソコン初心者を指導できるだけの「知識とアドバイス技術」を有することが認定された者(シニアの方を対象とした民間による認定制度)

※大学院卒業後は、小学校でのプログラミング授業での講師・補助講師として、またシルバー大学校ICTコースの講師などとして活動

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	1,075人	1,105人	1,145人	1,195人
実績	1,025人	1,066人	1,098人	1,140人(見込)	—

## ➤ KPI-6 : 老人クラブによる高齢者のデジタル機器(スマートフォン、パソコン)利活用支援のための研修開催

担当課:長寿いきがい課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	推進	参加者からの意見を反映させながら推進(PDCA) →		
実績	—	推進	推進	推進	—

※研修開催数 令和3年度24教室、令和4年度63教室、令和5年度見込59教室

# 主な指標及び工程(4)

※実績値はR6.3.31時点(見込)

- KPI-7 : 「とくしまデジタル支援員」が講師等を務める  
高齢者又は障がい者向けスマホ体験教室や相談会の参加者数  
担当課: デジタルとくしま推進課、e-とくしま推進財団

「とくしまデジタル支援員」

県内の産学官が連携した「とくしまデジタル人材育成プラットフォーム(事務局e-とくしま推進財団)」において、デジタル技術を活用し、徳島県内におけるデジタルデバイドの解消をはじめ、地域課題解決に意欲と能力があると認められた人材で、「とくしまデジタル人材バンク」に登録された者

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	—	300人	300人	300人
実績	—	—	536人	600人	—

- KPI-8 : 高齢者を対象としたスマートフォンの使い方に関する  
相談会の開催数  
担当課: e-とくしま推進財団

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	—	—	20回	20回
実績	—	—	—	20回	—

※参加者数の合計 令和5年度70名

# 主な指標及び工程(5)

※実績値はR6.3.31時点(見込)

## □ CSF-2 : 誰もが情報による恩恵を享受できる環境の整備

➤ KPI-1 : 県HP全てのスマートフォン、タブレット対応

担当課:秘書課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	—	100%	100%	100%
実績	—	62.3%	100%	100%(見込)	—

➤ KPI-2 : 自動翻訳による県HPの外国語(英語、ドイツ語、中国語(簡体字/繁体字)、韓国語、ベトナム語)対応

担当課:秘書課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	—	100%	100%	100%
実績	—	42.3%	100%	100%(見込)	—

➤ KPI-3 : 県HPにおけるウェブアクセシビリティ方針の実践

担当課:秘書課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	—	100%	100%	100%
実績	—	52.0%	100%	100%(見込)	—

➤ KPI-4 : 県HPにおけるウェブアクセシビリティ基準適合レベルAAの準拠

担当課:秘書課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	準拠	準拠	検査結果を踏まえた	サイト改修(PDCA)
実績	準拠	準拠	準拠	準拠(見込)	—



# 主な指標及び工程(6)

※実績値はR6.3.31時点(見込)

- KPI-5 : ダイバーシティの観点に立った障がい者や外国人などへの  
県HPに関する県民アンケートの実施数

担当課:秘書課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	2回	2回	2回	2回
実績	0回	2回	2回	2回(見込)	—

## □ CSF-3 : 誰もがネットに接続可能な環境の整備

- KPI-1 : 県が整備・補助した無料公衆無線LAN  
アクセスポイント数

担当課:デジタルとくしま推進課

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	975箇所	1,000箇所	1,025箇所	1,050箇所
実績	986箇所	1,248箇所	1,292箇所	1,294箇所(見込)	—

- KPI-2 : ネット環境のない県立高校生世帯に対する  
貸出用モバイルルーター整備率(再掲)

担当課:教育政策課、  
総合教育センター

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	100%	100%	100%	100%
実績	—	100%	100%	100%(見込)	—

(再掲11 デジタル技術を活用した学校教育プロジェクト)

※配布の申出があった県立高校に対し、総合教育センターから予備を含めて合計429台配布。

# 令和5年度における取組内容(1)

## ■ 主な取組

- 「デジタル支援員」を育成、  
育成した「デジタル支援員」を活用して  
「スマホ体験教室」を開催(e-とくしま推進財団)  
携帯ショップがない市町村へ展開  
障がい者関連団体と連携して開催
- スマホ相談会の開催(令和5年度～)
- プログラミング教育出前授業
- セミナーの充実(e-とくしま推進財団)
- シルバー大学校及び同大学院において  
ICT講座を開講  
プログラミングコース卒業者は  
小学校プログラミング教育に携わる



スマホ体験教室  
(障がい者支援施設)



R6.1.23 e-とくしまビジネスセミナー



シルバー大学校

## ■ 令和5年度予算(主なもの)

- 人に寄り添う「とくしまデジタル人材育成  
プラットフォーム」運営事業 12,800千円

# 令和5年度における取組内容(2)

## ■ 主な取組

### ➤ 「徳島県障がい者ICTサポートセンター」開設(R5.8.6)

障がいのある方々に対する  
ICT機器利用の総合的なサービス拠点

## ■ 令和5年度予算

### ➤ 障がい者ICT技術活用事業 13,150千円



徳島県障がい者  
**ICTサポートセンター**  
Tokushima Information and Communication Technology Support Center  
for People with Disabilities

私たちが視覚や聴覚に障がいのある方対象に

Staff Voice



徳島県障がい者ICTサポートセンターICT専門員  
細川 源輝

当センターではパソコンやスマートフォンなど最新のICT機器を障がいの有無に関わらず使えるようサポートするだけでなく、視覚や聴覚障がい者向けアプリやSNS等についてもご紹介いたします。SNSやメールを使うと、離れている家族や友人との交流、災害時での情報収集、電話が通じない状況でも安否確認が行えることもあります。

また、視覚や聴覚に障がいのある方々にとって便利な最新ICT機器を展示しています。拡大読書機、音声読書機、補聴援助システム、対話支援システムなど、これら支援機器の用途、使用方法が知りたい方は、徳島県立障がい者交流プラザで実際に体験してみてください。購入手段や日常生活用具給付制度の申請方法などもご説明します。その他にもICTサポーターの養成や派遣、出張ICT機器体験会の開催などを行います。

障がいのある方々へのICT機器の支援は今後より重要になると考えます。私たちのサポートによって障がいのある方々が社会と更に繋がり、より自立した生活が送れるよう、一生懸命努めてまいります。

—Staff Voice

こんなお悩みやご質問のある方は、お気軽にご相談ください。

- 視覚に障がいがあってもパソコンやスマホは使えるの？
- パソコンを買ったけれど、使い方がわからない
- どんなソフトを買ったらいいの？買ったソフトの入れ方は？
- 購入方法は？ 公的補助はあるの？
- 家族とメールやLINEでやりとりしたい
- 聴覚に障がいのある人のためのアプリにはどんなものがあるの？
- 聞こえにくい人のための補聴システムにはどんな機器があるの？
- 機器の体験や貸出はできるの？

この他、センターでは、視覚や聴覚に障がいのある方向けの各種研修会を実施します。また、パソコンやスマホ等のグループ研修会などにICTサポーターを派遣し、操作の支援をします。

パソコンやスマホなどの使い方を覚えて、欲しい情報やニュースをいち早く手に入れ、生活や活動の幅を広げてみませんか。

〒770-0005 徳島市南矢三町2丁目1-59 徳島県立障がい者交流プラザ 視覚障がい者支援センター内  
開館時間：午前9時から午後5時まで  
休 館 日：木曜日 年末年始(12/29から1/3)

視覚障がい者支援センターHP



お問い合わせ先 電話 088-631-1400 FAX 088-631-1500  
Eメール toku\_ict@kouryu-plaza.jp

パソコンやスマホなどの利用を支援します！



# 課題とアクション

	課題	アクション
1	高齢者にとっては、端末の使い方や新しい機能等に対応するのが難しいといった技術面での課題がある。	高齢者がスマートフォン等の安全安心な利活用について学ぶことができるスマホ体験教室及び相談会を開催する。
2	誰もがデジタル活用の利便性を享受し又は担い手となることができる誰一人取り残されないデジタル社会の実現が課題となっている。	先端技術セミナー、ビジネスセミナーに加えICTに関するセミナーを充実させる。また、「とくしまデジタル支援員」を育成し、高齢者等のデジタル活用を支援する。
3	GIGAスクール構想により、1人1台端末などハード面の整備が進む中、指導体制やソフト面の充実が課題となっている。	ICTプログラミング教育アドバイザーを小中学校に派遣し、プログラミング教育出前授業を実施する。
4	GIGAスクール構想により整備された設備や端末の有効な活用方法の検討が課題となっている。	GIGAスクール構想に関する優れた取組を行った小中学校を対象とする表彰制度の充実を図る。

# 令和6年度における取組予定

## ■ 主な取組

- 「スマホ体験教室」を携帯ショップがない市町村へ展開、障がい者関連団体と連携して開催  
「とくしまデジタル人材育成プラットフォーム」の下、産学官連携して実施
- スマホ相談会の開催
- プログラミング教育出前授業の実施
- セミナーの充実
- シルバー大学校及び同大学院においてICT講座を展開
- 「障がい者ICTサポートセンター」において障害種別に応じて支援

## ■ 令和6年度予算(主なもの)

- 障がい者ICT技術活用事業 11,500千円





# 案件種別

「リーディング」案件として

(該当あり 該当なし)

「オンリーワン」案件として

(該当あり 該当なし)

「ナンバーワン」案件として

(該当あり 該当なし)

# 参考情報URL等

- 通信利用動向調査

総務省ホームページ

<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/statistics/statistics05.html>



- とくしまデジタル人材バンク

(公財)e-とくしま推進財団ホームページ

[https://www.e-tokushima.or.jp/human\\_resources\\_bank](https://www.e-tokushima.or.jp/human_resources_bank)



- 徳島県障がい者ICTサポートセンター

徳島県ホームページ

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kenko/shogaifukushi/7218956/>

